

2018年度 3-5月期 業績概要

注意事項

- **当社は、2017年度より決算期を3月20日から2月末日に変更しました。**
本資料内、2018年3-5月期業績値と比較対象となる2017年4-6月期業績値の期間が異なっているため、前年同期比の表記は〈参考値〉として記載しています。
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2018年3月1日～2018年5月31日)

1. 2018年度3-5月期 連結決算

- 2018年度3-5月期実績(連結・セグメント別)
- 主要事業の概要
(モーションコントロール, ロボット, システムエンジニアリング)
- 事業セグメント別売上高構成比
(2017年度4-6月期 → 2018年度3-5月期)
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
(2017年度4-6月期 → 2018年度3-5月期)
- 営業利益増減要因分析
(2017年度4-6月期 → 2018年度3-5月期)
- 2018年度3-5月期における取り組み

2. 2018年度上期・通期 連結決算見通し

- 2018年度上期 見通し(連結・セグメント別)
- 営業利益増減要因分析
(2017年上期 → 2018年度上期 予想)
- 2018年度通期 見通し(セグメント別)

3. 参考資料

- 設備投資, 研究開発費, 為替状況
- B/S 構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期連結受注推移
- 主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ A Cサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ

など



ACサーボ
Σ-7シリーズ



安川インバータ
新シリーズ

マトリクス
コンバーター
U1000

ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接, 塗装用途向け
 - FPD搬送, ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオ・メディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット

など



新小型ロボット
MOTOMAN-GP8



新型アーク溶接ロボット
MOTOMAN-AR1730



人協働ロボット
MOTOMAN-HC10DT

システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 大型風力発電用電機品
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ

など



大型風力発電用
発電機とコンバータ



連続鋳造設備



パワーコンディショナ
Enewell-SOL P2H



上下水道用
電気計装システム

その他

【主要製品】

- ・ EV用モータドライブシステム
- ・ 物流サービス

など

1. 2018年度3-5月期 連結決算

2018年度 3-5月期 実績（連結）

- 旺盛な需要を受け、大幅に増収増益（第1四半期としては過去最高）

	2018年度 3-5月期	2017年度 4-6月期	前年同期比〈参考値〉	
			増減額	増減率
売上高	1,282億円	1,075億円	+207億円	+19.3%
営業利益	172億円	132億円	+40億円	+30.0%
経常利益	168億円	126億円	+42億円	+33.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	157億円	98億円	+59億円	+60.4%

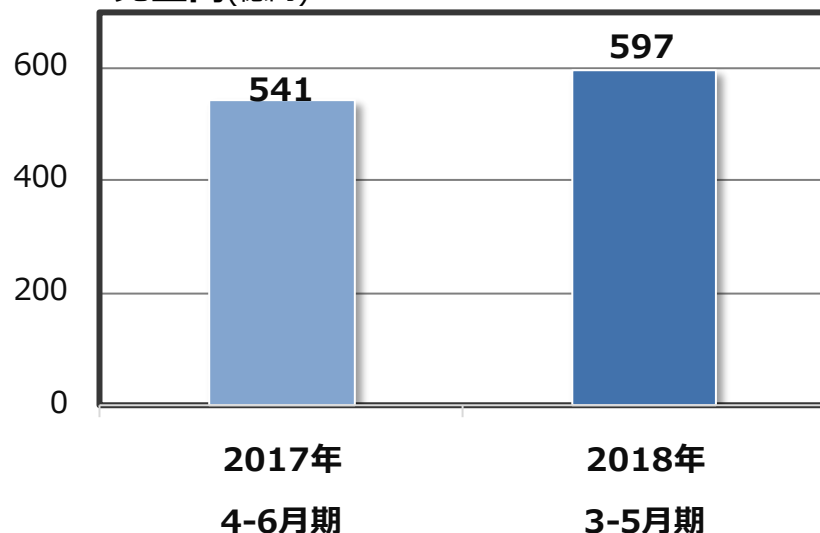
2018年度 3-5月期 実績（セグメント別）

- 成長市場を的確に捉え、全てのセグメントで売上高は伸長
- 収益性はロボット、モーションコントロールで大幅に向上

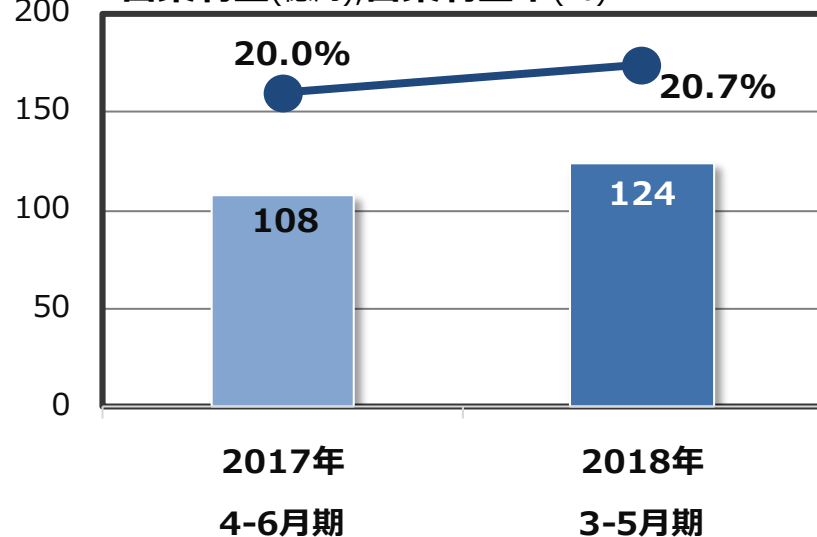
	2018年度 3-5月期		2017年度 4-6月期		前年同 期 比（参考値）	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売 上 高	1,282		1,075		+207	+19.3%
モーションコントロール	597		541		+56	+10.4%
ロボット	439		357		+82	+23.1%
システムエンジニアリング	140		129		+11	+8.3%
その他	106		48		+58	+121.0%
営 業 利 益	172	13.4%	132	12.3%	+40	+30.0%
モーションコントロール	124	20.7%	108	20.0%	+16	+14.3%
ロボット	50	11.4%	35	9.9%	+15	+41.8%
システムエンジニアリング	▲3	▲2.3%	▲7	▲5.2%	+4	-
その他	6	5.7%	▲1	▲1.3%	+7	-
消去または全社	▲5	-	▲4	-	▲1	-
経 常 利 益	168	13.1%	126	11.7%	+42	+33.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	157	12.3%	98	9.1%	+59	+60.4%

主要事業の概要_モーションコントロール

売上高(億円)



営業利益(億円), 営業利益率(%)



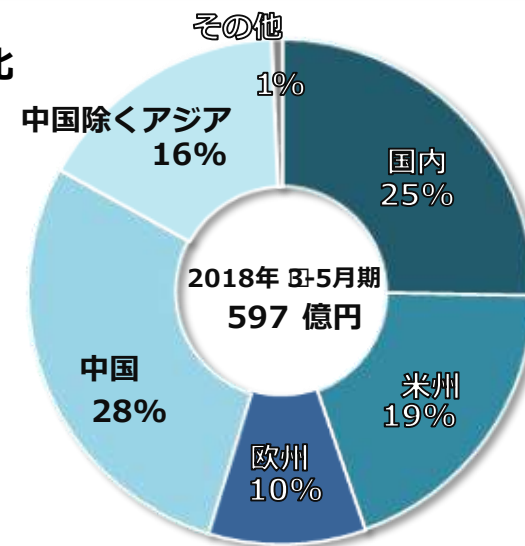
【売上高】

- ACサーボは、生産設備の自動化加速を背景に、データセンタ向け半導体・車載向け電子部品などの旺盛な需要を受け、好調に推移
- インバータは、中国での環境対応関連の投資回復や、米国オイル・ガス関連需要の底堅い推移により堅調

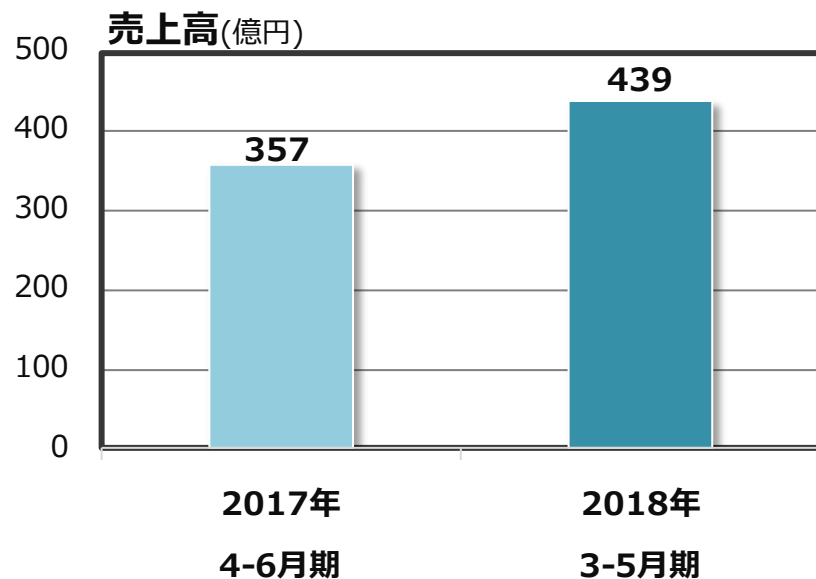
【営業利益】

- 中国を中心とした海外売上・生産の拡大により、収益性は高水準で推移

仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_ロボット

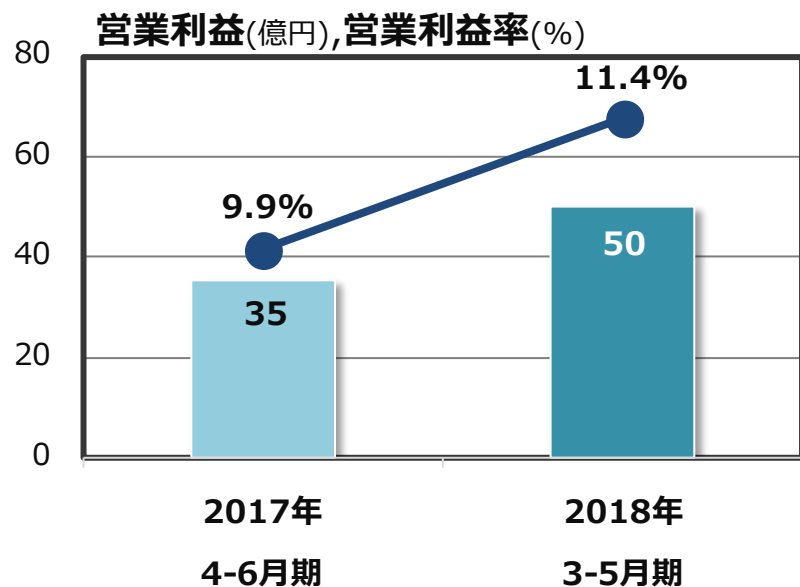


【売上高】

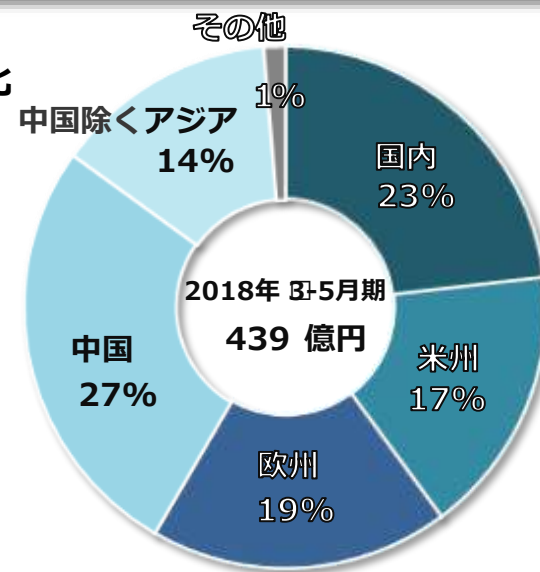
- 自動車関連向けは日本、欧州を中心にグローバルで好調
- 一般産業分野は生産自動化に伴う旺盛な需要を受け、中国を中心に拡大

【営業利益】

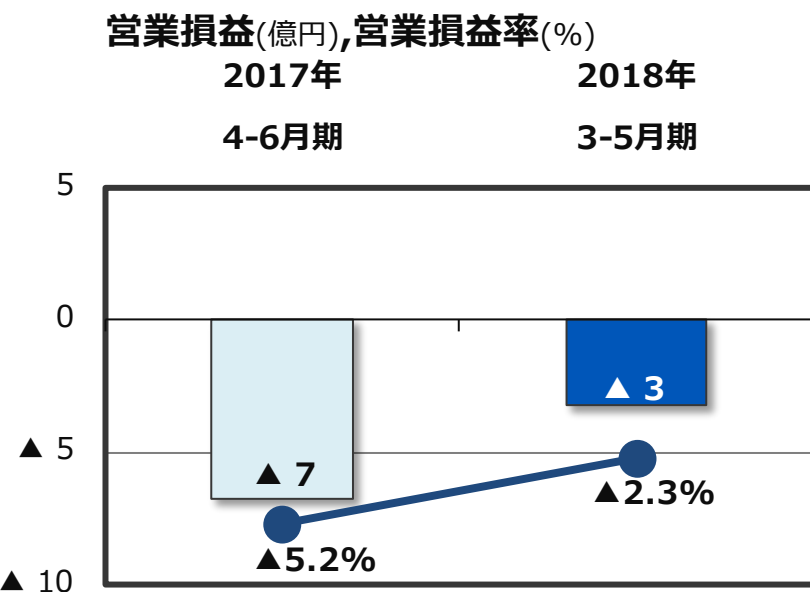
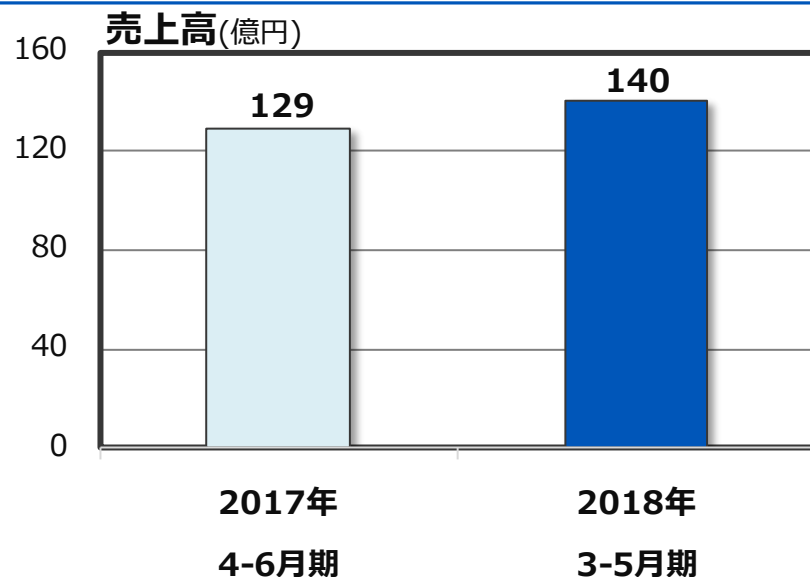
- 販売量の増加に伴い生産性が改善したことから収益性は大幅に向上



仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_システムエンジニアリング



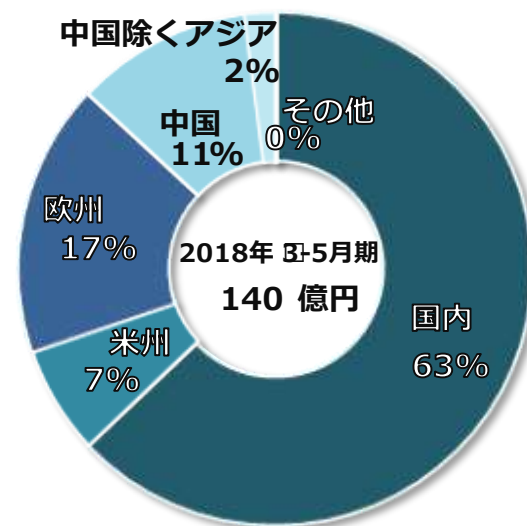
【売上高】

- 鉄鋼・社会システムは、複数の国内案件で進捗影響があったものの、決算期変更の影響などにより増収
- 環境エネルギー分野では、太陽光発電関連が低迷も、大型風力発電関連が欧州で伸長

【営業損益】

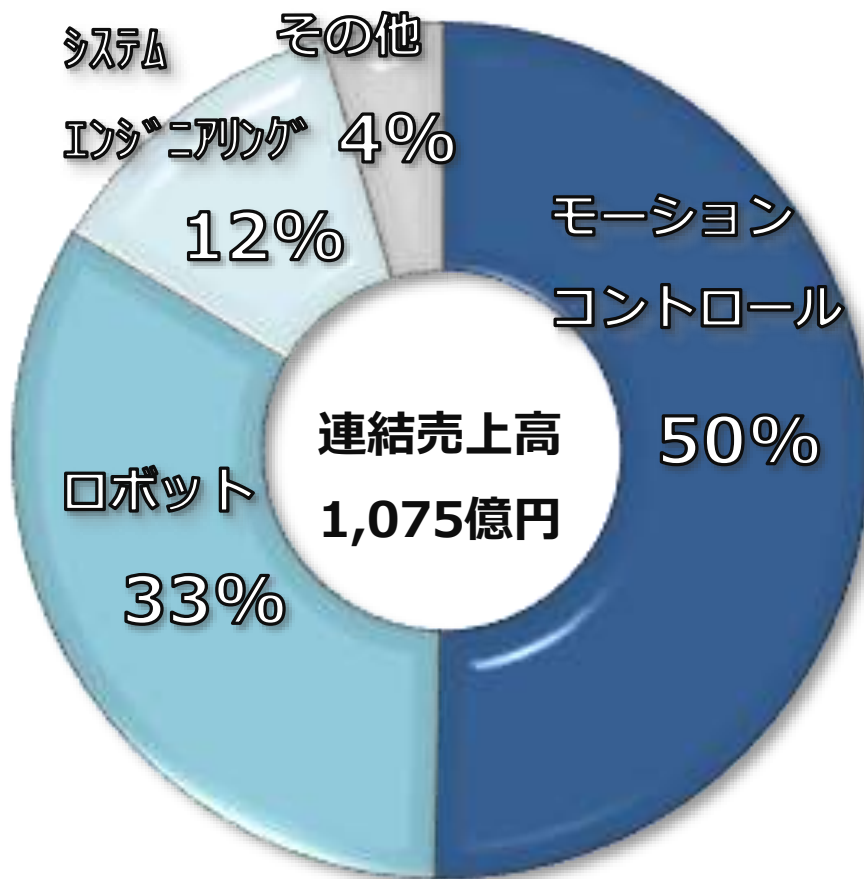
- 決算期変更の影響などにより、収益性は小幅ながら改善

仕向先別売上高構成比

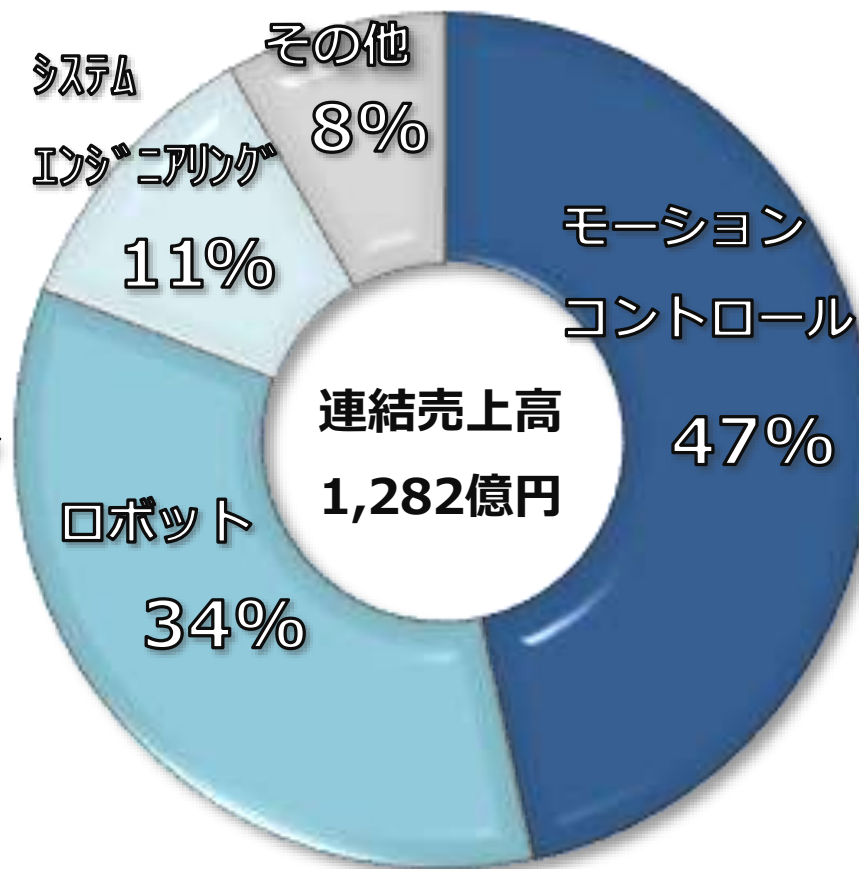


事業セグメント別売上高構成比

2017年度 4-6月期



2018年度 3-5月期



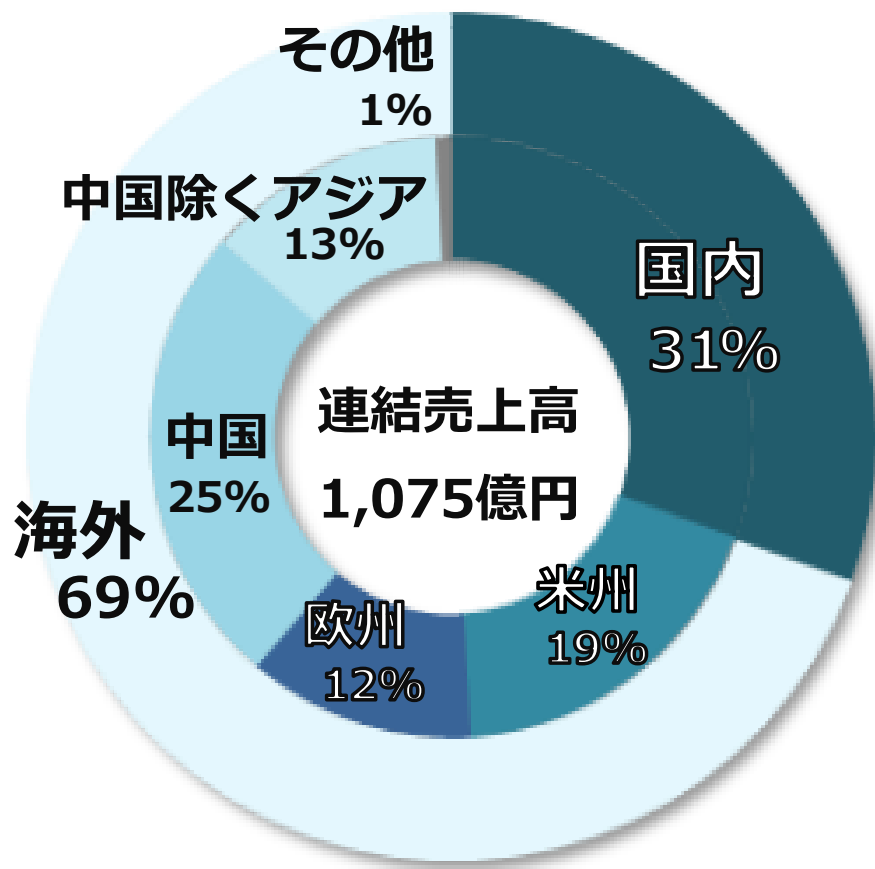
仕向先別売上高（2017年度 4-6月期 → 2018年度 3-5月期）

• 売上高はグローバルで大幅に伸長

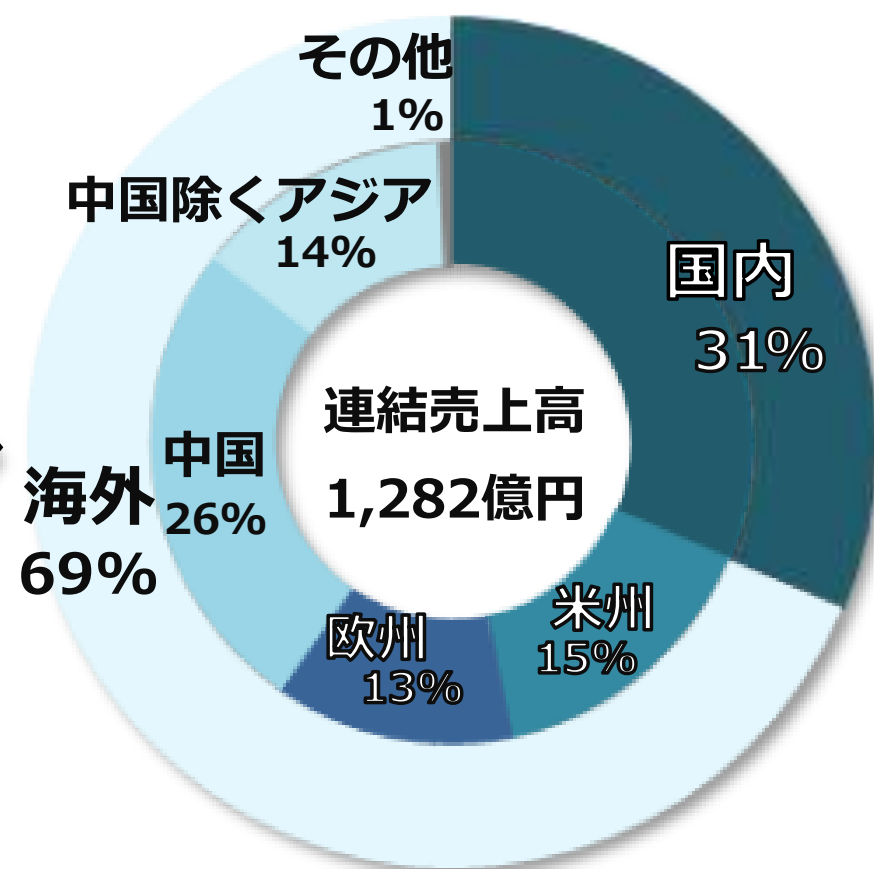
	2018年度 3-5月期	2017年度 4-6月期	前年度比 増減額	〈参考値〉 増減率
(単位：億円)				
売上高	1,282	1,075	+207	+19.3%
国内	402	328	+74	+22.5%
海外	880	747	+133	+17.9%
米州	198	200	▲1	▲0.7%
欧州	166	131	+35	+26.8%
中国	331	269	+63	+23.3%
中国除くアジア	176	139	+37	+26.6%
その他	9	9	+0	+3.0%

[注.] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含む

2017年度 4-6月期

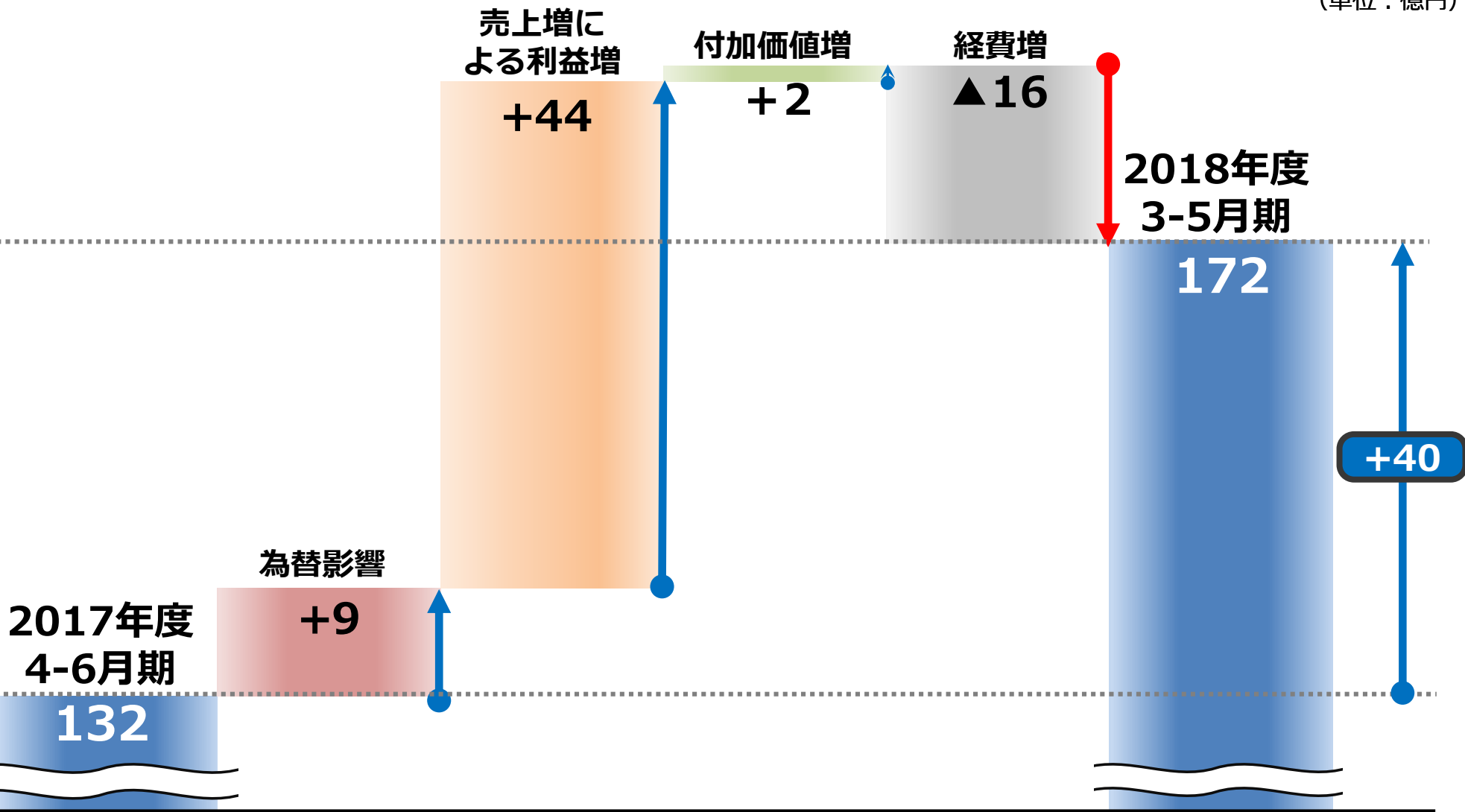


2018年度 3-5月期



営業利益増減要因分析（2017年度4-6月期 → 2018年度3-5月期）

（単位：億円）



2018年度3-5月期における取り組み

➤ コア事業における収益力強化

➔ ソフトウェアツール「YASKAWA Cockpit」提供開始 (18年6月)

- ・「i³-Mechatronics」コンセプトを実現する中核ツール
- ・生産現場の状態監視・診断、故障予知や、機器の異常診断などを実現

➔ マトリクスコンバータ「U1000」船級規格対応品 発売 (18年5月)

- ・船舶発電機への高調波影響を排除し、制御盤の小型化を実現

マトリクスコンバータU1000
船級規格対応品



➤ 開発力・生産力・販売力の継続的進化

➔ AIソリューション開発の子会社「エイアイキューブ」設立 (18年3月)

- ・現場で発生するビッグデータを活用するAI技術の開発を加速

➔ EMC※試験施設の新設 (18年3月)

- ・EMC試験を自社で実施し、試験データ・ノウハウを蓄積

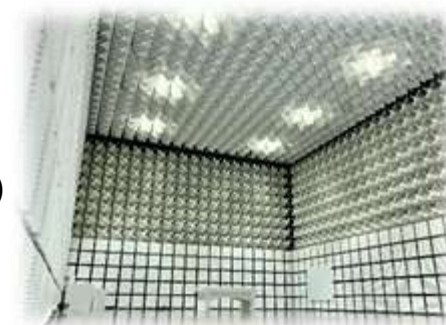
※Electromagnetic Compatibilityの略。電磁(ノイズ)現象によって周辺機器に影響を及ぼさない、または電磁妨害への耐性があること

➔ 中国(常州)第3工場(ロボットの生産拠点)の竣工 (18年6月)

- ・生産能力を従来の1,000台/月から1,500台/月に拡大

➔ 末松九機株式会社を子会社化 (18年3月)

- ・営業体制の再構築によりソリューション提案力を強化



本社事業所内
EMC試験施設の内観

中国(常州)第3工場 外観



2. 2018年度上期・通期 連結決算見通し

2018年度 上期(3-8月期) 見通し (連結)

- ・ 旺盛な設備投資需要を背景に、売上高・利益ともに過去最高を計画

	2018年度 上期 (3-8月期) 予想	2017年度 上期 (4-9月期) 実績	前 年 同 期 比 〈参考値〉	
			増減額	増減率
売 上 高	2,585億円	2,291億円	+293億円	+12.8%
営 業 利 益	333億円	278億円	+55億円	+19.8%
経 常 利 益	338億円	275億円	+63億円	+23.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	265億円	211億円	+54億円	+25.6%

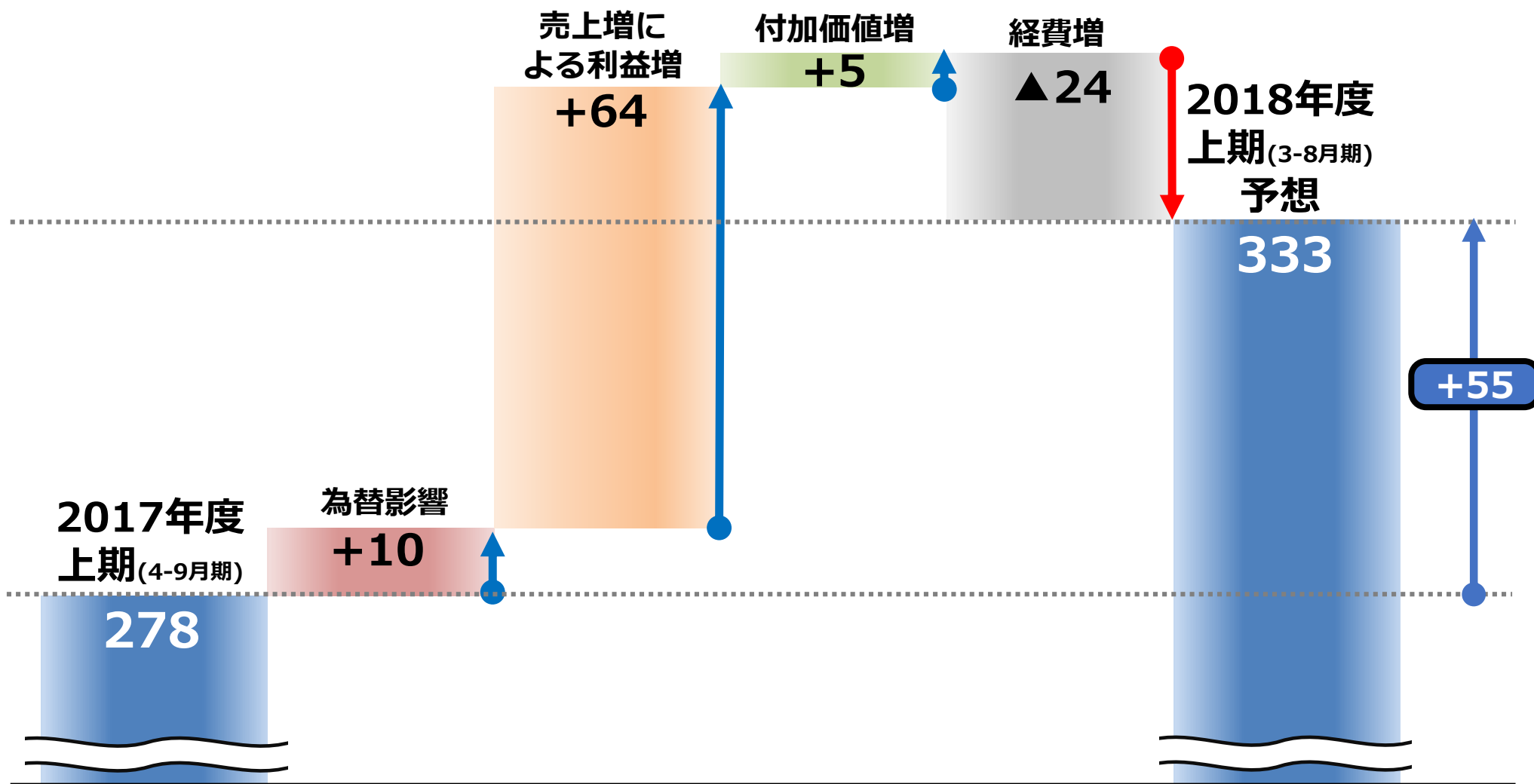
2018年度 上期(3-8月期) 見通し (セグメント別)

・ モーションコントロール・ロボットを中心に増収増益を計画

	2018年度 上期		2017年度 上期		前 年 同 期 比 〈参考値〉	
	(3-8月期) 予想	利益率	(4-9月期) 実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売 上 高	2,585		2,291		+293	+12.8%
モーションコントロール	1,183		1104		+80	+7.2%
ロボット	927		804		+123	+15.2%
システムエンジニアリング	285		282		+3	+1.2%
その他	189		101		+88	+86.8%
営 業 利 益	333	12.9%	278	12.1%	+55	+19.8%
モーションコントロール	239	20.2%	218	19.7%	+21	+9.5%
ロボット	105	11.3%	86	10.6%	+19	+22.3%
システムエンジニアリング	▲5	▲1.8%	▲18	▲6.3%	+13	-
その他	6	3.4%	▲1	▲0.5%	+7	-
消去または全社	▲11	-	▲7	-	▲4	-
経 常 利 益	338	13.1%	275	12.0%	+63	+23.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	265	10.3%	211	9.2%	+54	+25.6%

営業利益増減要因分析（2017年度 上期 → 2018年度 上期予想）

（単位：億円）



【参考】2018年度 通期見通し（セグメント別）

● 期初計画は据え置き。セグメントの見通しを修正

	2018年度		2018年度		前回予想比 増減額	2017年度		前年度比〈参考値〉	
	予想	利益率	前回予想	利益率		実績※ 〈参考値〉	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)									
売上高	5,100		5,100		-	4,645		+455	+9.8%
モーションコントロール	2,295		2,315		▲20	2,152		+142	+6.6%
ロボット	1,859		1,832		+27	1,668		+191	+11.4%
システムエンジニアリング	587		605		▲18	613		▲26	▲4.3%
その他	359		348		+12	211		+148	+69.9%
営業利益	655	12.8%	655	12.8%	-	571	12.3%	+84	+14.7%
モーションコントロール	452	19.7%	458	19.8%	▲5	423	19.6%	+30	+7.0%
ロボット	217	11.7%	211	11.5%	+6	185	11.1%	+32	+17.5%
システムエンジニアリング	▲2	▲0.3%	0	0.0%	▲2	▲21	▲3.4%	+19	-
その他	9	2.5%	7	1.9%	+2	▲2	▲0.7%	+11	-
消去または全社	▲21	-	▲21	-	▲1	▲14	-	▲8	-
経常利益	670	13.1%	670	13.1%	-	583	12.6%	+87	+14.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	500	9.8%	500	9.8%	-	417	9.0%	+83	+19.8%

※ 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

3. 参考資料

設備投資、研究開発費、為替状況

設備投資の状況

(単位：億円)

	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (計画)
設備投資額	149.1	196.9	300.0
減価償却費	120.8	126.9	140.0

研究開発投資の状況

(単位：億円)

	2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (計画)
研究開発投資	179.8	190.7	210.0

為替状況

(円)

	2016年度 (実績)			2017年度 (実績)			2018年度 (想定)				
	4-6月期	上期	通期	4-6月期	上期	通期	3-5月期 (実績)	6-8月期	上期	下期	通期
対 米ドル	110.8	107.1	108.4	111.9	111.5	111.4	107.8	105.0	106.4	105.0	105.7
対 ユーロ	124.5	120.0	119.2	120.9	124.4	128.8	130.9	130.0	130.4	130.0	130.2

※ 為替レートについては、期中平均レートを記載

B / S 構造の推移

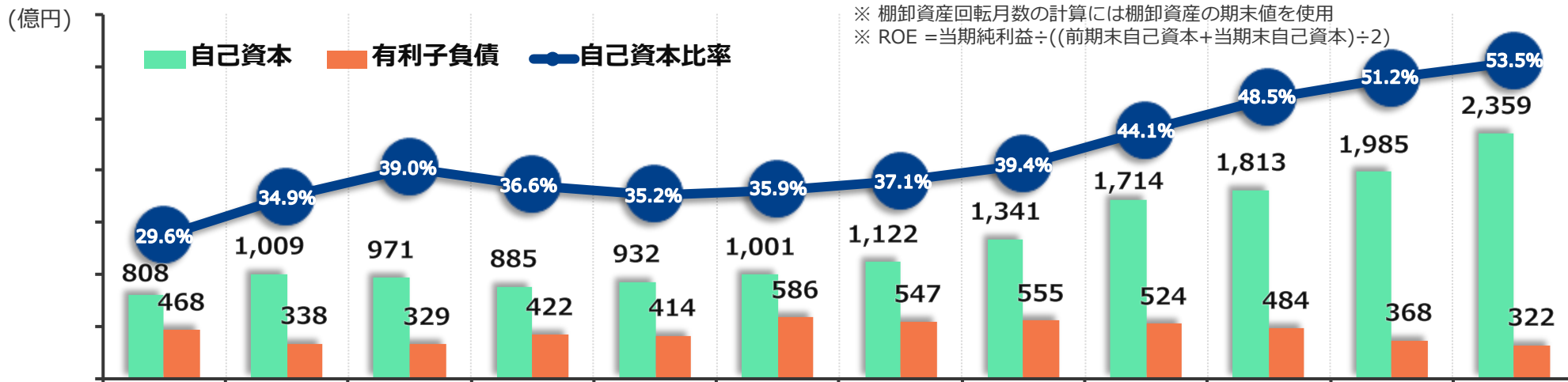
2018年2月28日時点

- 自己資本比率 53.5%
- 自己資本 2,359億円
- 有利子負債 322億円
- D/Eレシオ 0.14
(ネットD/Eレシオ) ▲0.04
- 棚卸資産 1,001億円
(回転月数) (2.7ヶ月)
- ROE 18.3%

2018年5月31日時点

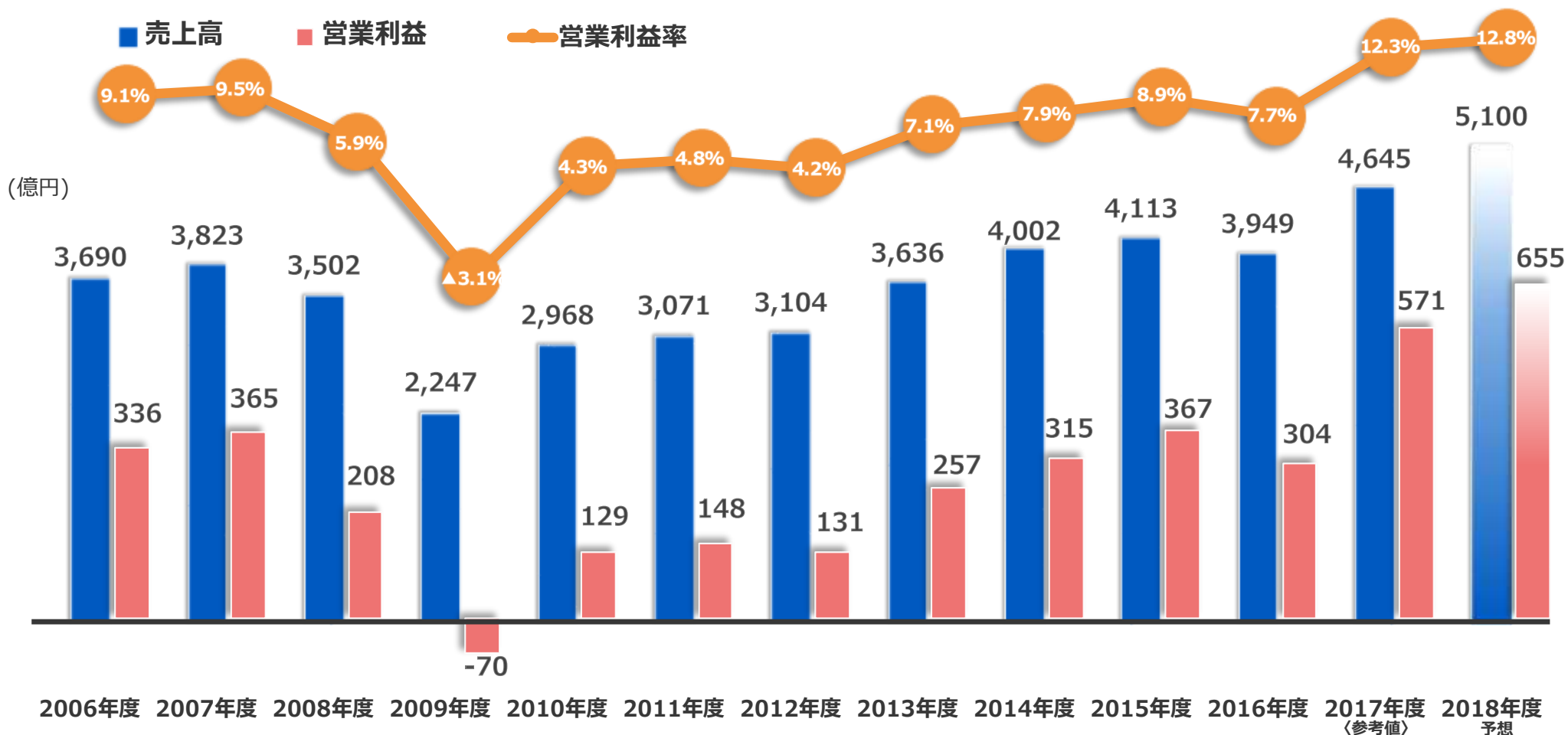
- 自己資本比率 50.3%
- 自己資本 2,326億円
- 有利子負債 450億円
- D/Eレシオ 0.19
(ネットD/Eレシオ) ▲0.02
- 棚卸資産 1,039億円
(回転月数) (2.4ヶ月)

※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)



(億円)	2007年3月	2008年3月	2009年3月	2010年3月	2011年3月	2012年3月	2013年3月	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年2月
営業CF	150	177	125	40	25	64	246	240	290	320	338	461
投資CF	▲ 61	▲ 99	▲ 107	▲ 65	▲ 67	▲ 119	▲ 181	▲ 169	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 189
フリーCF	89	78	18	▲ 24	▲ 43	▲ 55	66	70	11	95	148	272

連結売上高・営業利益推移（2006年度～2018年度予想）



ダッシュ 100

Challenge 100

Realize 100

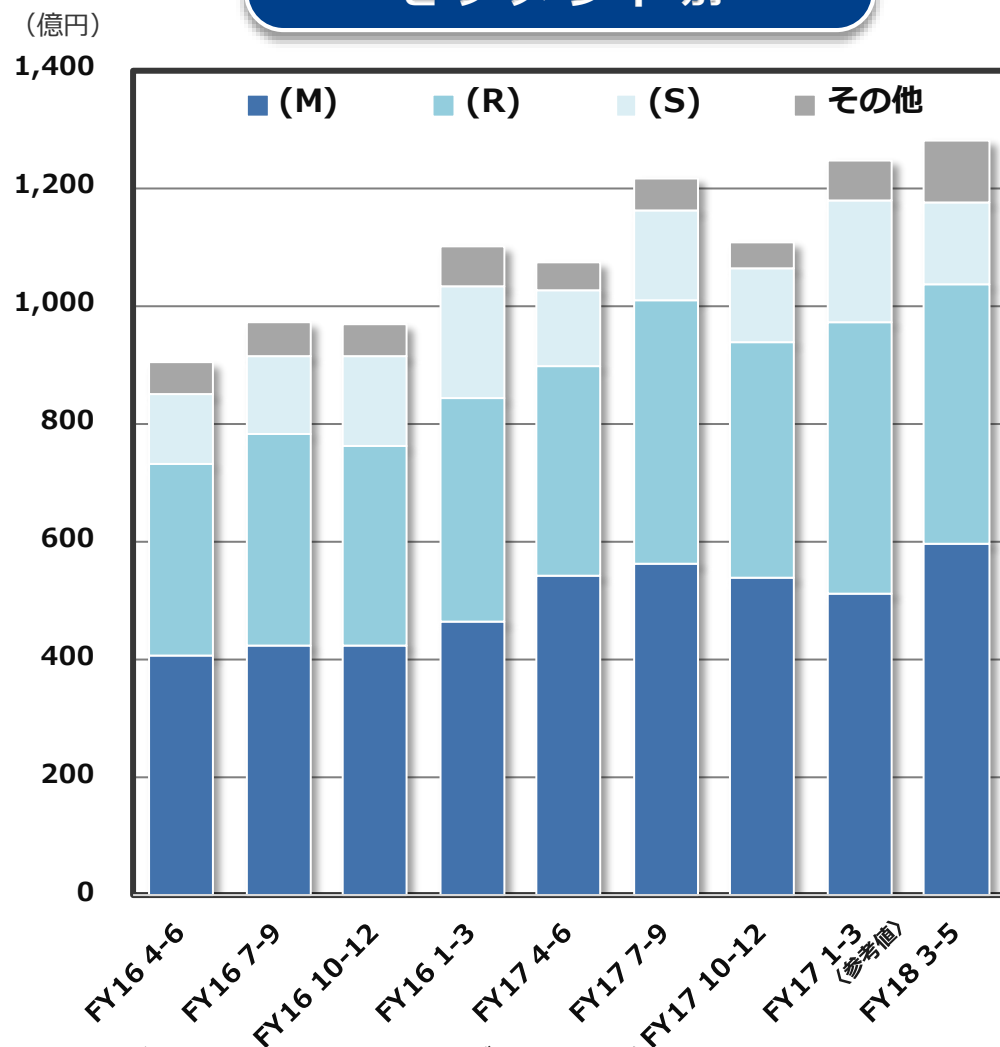
Dash 25

中期経営計画

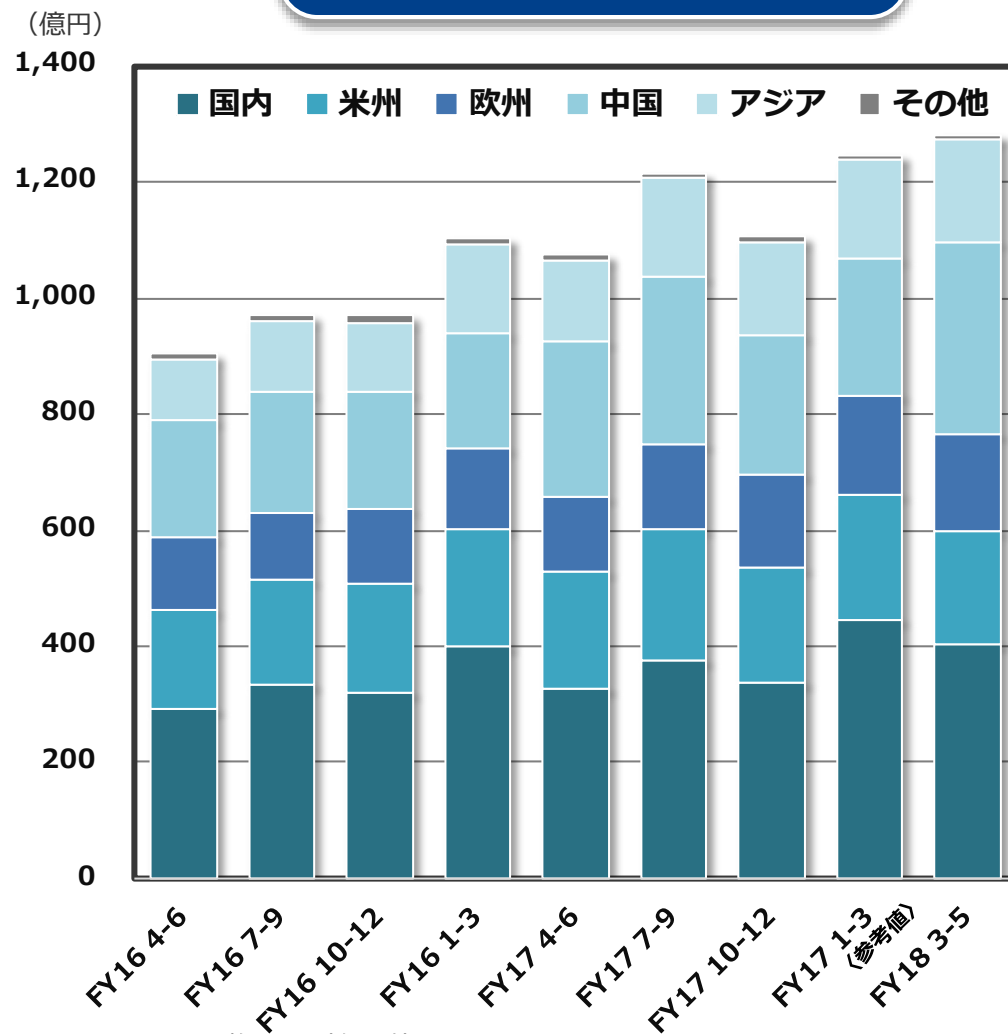
※ 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結売上高推移

セグメント別



仕向先別



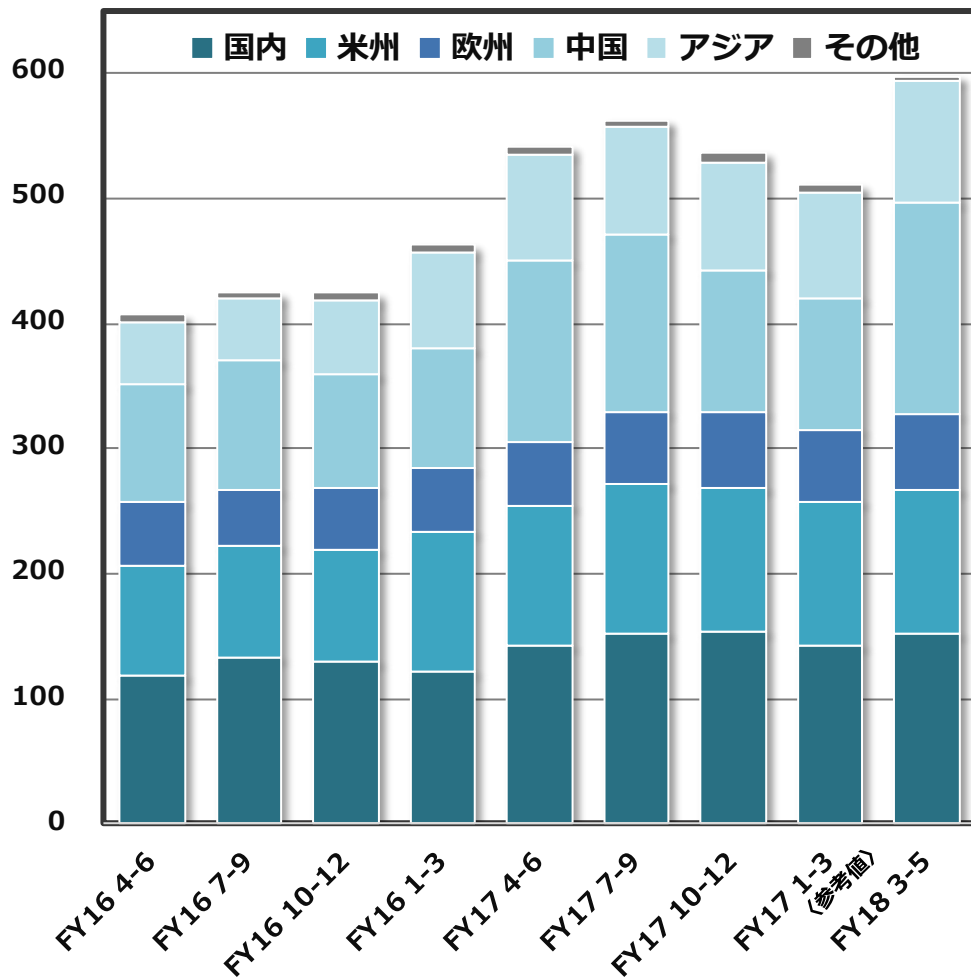
[注.1] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.2] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上高推移

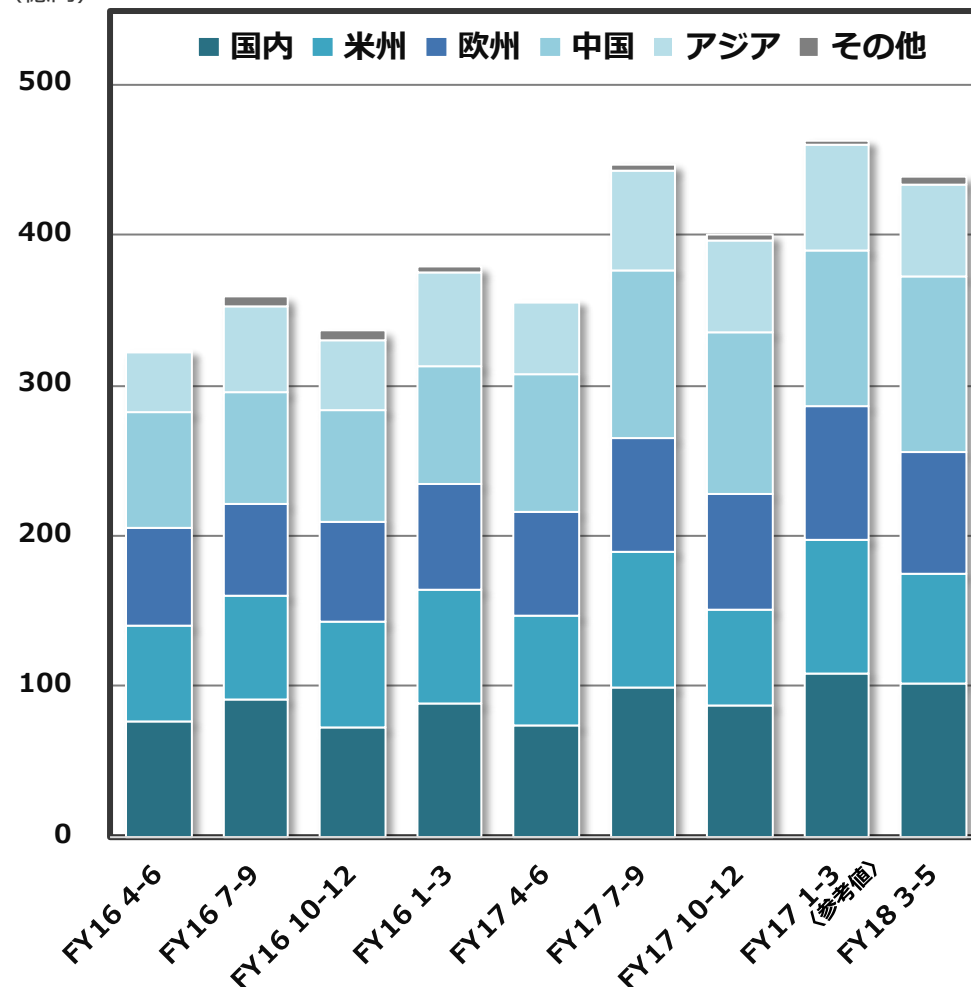
モーションコントロール

(億円)



ロボット

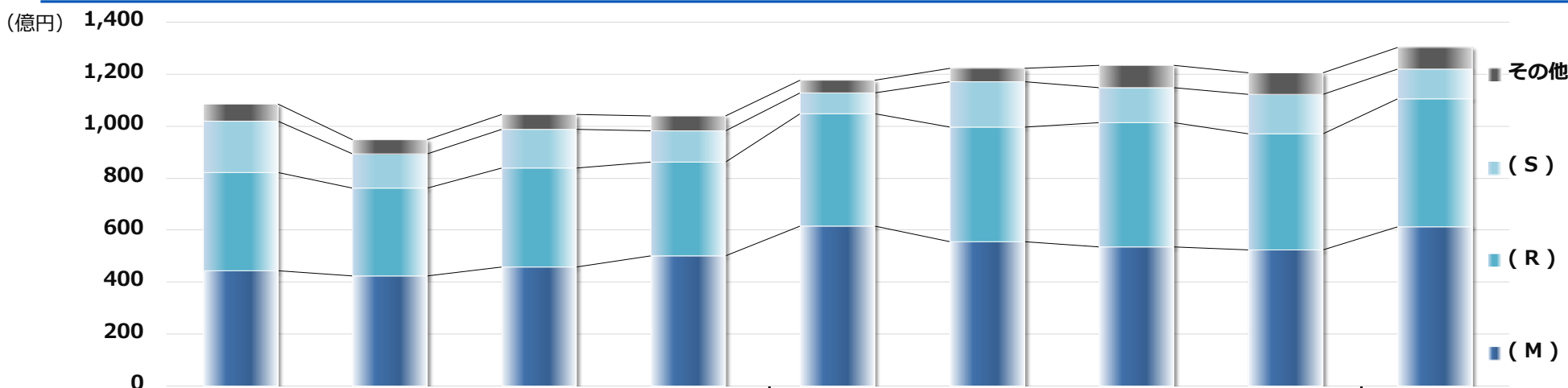
(億円)



[注] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用



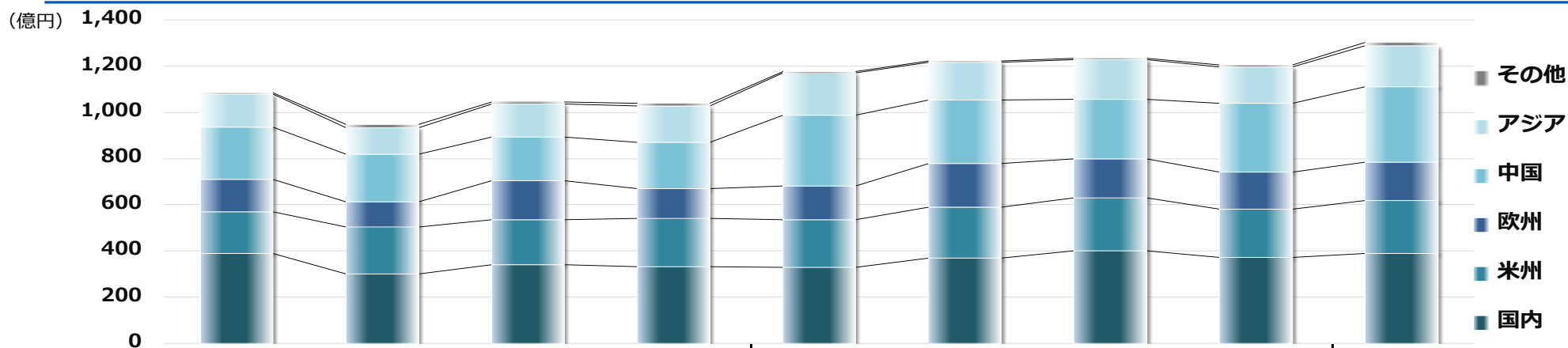
FY2016						FY2017				FY2018
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 〈参考値〉	3-5月期
全社	YoY	▲1%	▲8%	▲2%	+13%	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%
	QoQ	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%
YoY	(M)	▲12%	▲12%	+5%	+17%	+39%	+31%	+17%	+5%	▲1%
	(R)	▲9%	▲11%	+5%	+7%	+14%	+31%	+25%	+24%	+15%
	(S)	+106%	+31%	▲24%	+43%	▲59%	+33%	▲10%	+24%	+42%
QoQ	(M)	+3%	▲4%	+8%	+9%	+23%	▲10%	▲3%	▲2%	+17%
	(R)	+12%	▲11%	+13%	▲5%	+19%	+2%	+8%	▲6%	+11%
	(S)	+134%	▲33%	+14%	▲20%	▲33%	+118%	▲23%	+11%	▲23%
為替 レート	円/ドル	110.8	103.5	104.8	114.5	111.9	111.1	112.2	110.7	107.8
	円/ユーロ	124.5	115.6	115.3	121.5	120.9	127.9	132.4	134.2	130.9

[注.1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注.2] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結受注推移（仕向先別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2016				FY2017				FY2018
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 〈参考値〉	3-5月期
全社	YoY	▲1%	▲8%	▲2%	+13%	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%
	QoQ	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%
YoY	国内	+9%	▲15%	▲6%	+11%	▲15%	+23%	+18%	+12%	+18%
	米州	▲17%	▲1%	▲2%	+7%	+15%	+9%	+17%	+0%	+11%
	欧州	▲3%	▲18%	+2%	+6%	+2%	+73%	▲0%	+25%	+16%
	中国	+10%	▲2%	▲12%	+21%	+36%	+34%	+38%	+47%	+6%
	アジア	▲13%	▲10%	+17%	+15%	+27%	+40%	+20%	+1%	▲2%
QoQ	国内	+29%	▲23%	+14%	▲2%	▲1%	+12%	+9%	▲7%	+4%
	米州	▲8%	+14%	▲5%	+7%	▲1%	+8%	+2%	▲8%	+10%
	欧州	+17%	▲23%	+58%	▲25%	+13%	+30%	▲9%	▲6%	+5%
	中国	+37%	▲9%	▲9%	+7%	+53%	▲11%	▲6%	+15%	+10%
	アジア	+4%	▲19%	+23%	+10%	+15%	▲10%	+5%	▲7%	+12%

[注] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

主要生産拠点



YASKAWA